

## 7章 作業後の手入れのしかた

### 1. 作業後の手入れ

#### ⚠ 危険

- シートをかける場合はエンジンを停止し、エンジンやマフラーが十分冷えたことを確認してからかけてください。

使用後はモアと走行部を水洗いし、水洗い後は水分をよくふき取って、各グリス注入部（グリスニップル）にグリスアップを行なってください。

#### ⚠ 注意

- 点検・整備・修理をするときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと機械に巻き込まれて、傷害事故を起すことがあります。
- 点検・整備をするときは、マフラーやエンジンの過熱部分が十分に冷めてから行ってください。守らないと、ヤケドを負うおそれがあります。

#### [取扱いの注意]

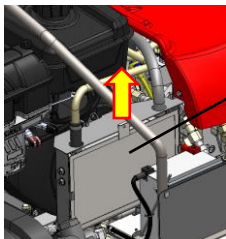
- 電装品にはできるだけ水をかけないようにしてください。故障の原因となります。

### 2. オイルクーラ類の清掃のしかた

吸気スクリーンとオイルクーラに刈草が付着していると、オーバーヒート・油温上昇の原因になります。作業前、作業後には必ず点検、清掃してください。

また、枯草・綿毛の多く乾燥した作業環境では作業中にもこまめに点検・清掃してください。

- (1)吸気スクリーンの取っ手を持ち、上方に引き抜いてください。



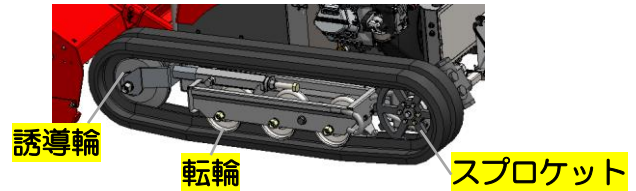
吸気スクリーン

- (2)刈草などのゴミをスクリーンから取り除いてください。

中にあるオイルクーラの表面から刈草等ゴミを取り除いてください。圧縮空気を用いて押し込まないでください。エンジン内部で詰まりオーバーヒートの原因となります。吸引式の掃除機等を使用して清掃してください。

- (3)スクリーンを元の位置に戻します。

### 3. クローラ走行部の清掃



草・つる等がたまっていたり、巻付いたりしていると走行負荷の増加、クローラ異常摩耗や外れの原因となりまりますので作業前・作業後は必ず点検・清掃してください。また、作業条件によっては作業中にも点検してください。

- (1)スプロケット周辺の刈草等の堆積物除去
- (2)転輪・誘導輪周辺の刈草等の堆積物除去
- (3)クローラへの石・木等の噛み込みがあれば取り除いてください。

### 4. エンジン回り・Vベルト回りの清掃

刈草などがたまっていたり、巻き付いていたらすみやかに取り除いてください。発火や早期破損の原因となります。

### 5. エアクリーナの清掃

エアクリーナケース内部のゴミやエレメントへ付着している草・ほこり等を取り除きます。

### 6. リモコン送信機の清掃

リモコン送信機に付着した油類や砂、泥汚れを柔らかい布でよくふきとって清掃します。レバー・スイッチ類が円滑に動くようにいつもきれいな状態を維持してください。又、汚れで文字が見えないことがないようにきれいに扱ってください。

#### ⚠ 警告

走行レバーの根本に砂、ゴミや異物の噛み込みがないか丁寧に確認してください。噛み込みが見られた場合はきれいに取り除いてください。噛み込みがあったままで使用すると、意図せぬ動きをする恐れがあり大変危険です。

## 7章 作業後の手入れのしかた

### 7. 長期間使用しない場合の手入れ

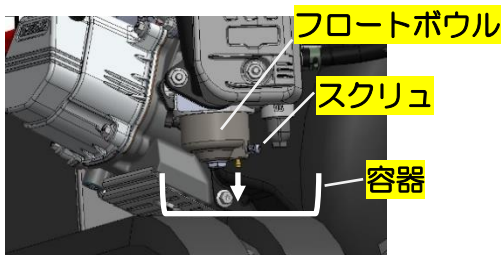


#### 警告

- 格納する場合は、バッテリー端子からバッテリーケーブルを取り外し、キーを抜き取り保管してください。守らないと、事故を起こすおそれがあります。
- リモコン送信機からバッテリーを外し保管してください。付けたまま保管しているとバッテリー液漏れ等の恐れがあります。
- 本機のキーおよび、リモコン送信機は本機とは離れた別の場所へ保管してください。

本機を長期間（3ヶ月以上）使用しない場合は、次の要領で整備し格納してください。

- (1) 乾燥した風通しの良い所でモアと地面の間に板を敷きモアを降ろした状態にしてください。
- (2) 外部の錆びやすい部分に防錆油、またはエンジンオイル・グリスを塗ってください。
- (3) 燃料タンクに燃料を満タンにしてください。空にしておきますと水滴ができ、サビの原因になります。エンジンのスロットルレバーを一番右側（閉じの状態）にしてください。燃料コックが閉じます。



- (4) キャブレタのフロートボウル内の燃料を抜きます。燃料受け容器をフロートボウル下に用意してスクリュを緩めます。燃料の排出が終わったらスクリュを締めます。

もしくは、燃料コックを閉じた後にキャブレタ内の燃料がなくなるまでエンジンを運転してください。

- (5) バッテリーを完全に充電し、なるべく本機から取り外して、風通しの良い冷暗所に保管してください。また、車輻に取り付けたまま保管するときは、必ずアース側（一側）を取り外してください。
- (6) キーを抜き取り、本機以外の離れた場所に保管してください。

#### [ 取り扱い注意 ]

- バッテリーは、使わなくても自然放電します。3ヶ月に一度は充電器で完全充電してください。